



2011年4月入職

あさかわたいすけ
浅川泰介

人として成長するために、クリアすべき関門だった

究極の理想は、自分がいなくても成り立つクリニック

前回、第6期のエキスパート CE に立候補したのですが、残念ながら不合格。機械の管理方法をはじめ、様々な面で勉強不足が露呈してしまいました。そして今回、再チャレンジにあたって改めて認定試験を受ける意味を考え直しました。いま思えば、前は好奇心や勢いという要素が大きかったのかもしれませんが。しかし今回、「もう1回受け直す意味はなんだろう」と自問自答した結果、出てきた答えは自分が尊敬している人たちに近づくことでした。私は趣味でコーラスのサークルに入っているのですが、そこで輝いている人たちは、仕事の話も聞いていても色々なことを任されていて、そちらでも輝いている。仕事もプライベートも充実しているそんな姿に憧れていた私は、仕事でも結果が出せるという実感が欲しかったのです。そんな私にとって、エキスパート CE になることは、技士としてはもちろん、人として成長していくためにクリアすべき関門だと思いました。

今回、エキスパート CE として認定を受けることができましたが、今はまだ何も成し遂げてはおらず、取り組んでいきたいことがたくさんあります。例えば、より良い運営を行うための環境整備です。未使用部品の収納といった細やかなことまで気を配り、安心・安全な医療を提供するための環境を整えていきたいと思っています。患者さまには見えない部分ですが、きちんと在庫管理ができていれば、働くスタッフたちの仕事に向き合う心構えも変わってくるのではないかと。そうやってひとつひとつ丁寧に取り組むことで、少しずつサービスの質を上げていきたいですね。最終的には、スタッフ個人の経験や知識に依存することなく、誰が勤務しても運営に支障をきたさないような仕組みを作り、組織としての完成度を高めていきたいと思っています。



あるべきクリニックを実現させるために



そのためには、今まで以上にスタッフのマネジメントが欠かせません。年配のスタッフだと指摘しづらいときもあるのですが、必要な注意はしっかりと伝えなくてははいけない。手技1つにしても、「まずは消毒して、次にこうして、その次にこう」という守るべき順番がありますが、忙しくなってしまうと順番が前後してしまうことがあります。一見すると小さなことかもしれ

ませんが、この順番は安全性を考慮した上で決められた重要なものです。看護師や事務といった他部署のスタッフにも積極的に声をかけながら、あるべきクリニックを実現させていきたいですね。

安心・安全をベースに
お客さまと気持ちを通じ合う
環境作りに努めます。

浅川泰介